

## 嵯峨野高校校有林の有する多面的機能 ～胸高断面積と地上部バイオマスの推定～

### Multifaceted function in the Woods for Sagano H.S. ~Estimation of Basal Area and Aboveground Biomass~

\*山西 菜々子<sup>1</sup>、\*竹村 美潤<sup>1</sup>

\*Nanako YAMANISHI<sup>1</sup>, \*Mihiro TAKEMURA<sup>1</sup>

1. 京都府立嵯峨野高等学校

1. Kyoto Prefectural Sagano High School

約70年前に嵯峨野校有林において、スギやヒノキが植林された。最近では、林内の一部広葉樹への遷移が起こっている。しかしながら、4年前まではこれらの木々は間伐されていないと思われる。本研究の目的は、現在の樹勢の状態把握と、将来の森林維持の方法を見出すことである。我々は、地上部のバイオマス量を測るのにビッターリッヒ法を用いた。現在、森林の平面測量を行い、5平方メートルのコドラートを50区画設置した。コドラートを基準にラインセンサスを設定し、簡易的に胸高直径を推定した。また樹高の計測に、ハンドレベルと距離計を用いて回帰直線を作成し、推定値の算出を試みた。これらの方法は有効で、我々は得たデータを解析している。

キーワード：バイオマス、森林

Keywords: biomass, forest